

JFA 第9回全日本U-18フットサル選手権大会 奈良県大会 実施要項

- 1 主催 一般社団法人奈良県サッカー協会
- 2 主管 一般社団法人奈良県サッカー協会2種委員会
- 3 協力 奈良県フットサル委員会
- 4 期日 2022年4月10日(日)
- 5 会場 平群町総合スポーツセンター体育館(生駒郡平群町福貴72)

6 参加資格

1. フットサルチームの場合

①公益財団法人日本サッカー協会(以下、「本協会」とする。)に「フットサル2種」、または「フットサル3種」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「フットサル2種」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「フットサル3種」年代のみとし、「フットサル2種」およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。

②前項のチームに所属する2004年4月2日以降、2010年4月1日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

2. サッカーチームの場合

①本協会に「2種」、「3種」または「女子」の種別で加盟登録した単独のチームであること(準加盟チームを含む)。一つの加盟登録チームから、複数のチームで参加できる。本協会に承認を受けたクラブを構成する加盟登録チームについては、「2種」、「女子」チームは、同一クラブ内の他の加盟登録チームに所属する選手を、移籍手続きなしに参加させることができる。なお、適用対象となる選手の年齢は「3種」年代のみとし、「2種」年代およびそれ以上の年代の選手は適用対象外とする。』

②前項のチームに所属する2004年4月2日以降、2010年4月1日以前に生まれた選手であること。男女の性別は問わない。

③外国籍選手は1チームあたり3名までとする。

④高体連加盟チーム、および学校教育法第72条の特別支援学校、第115条の高専、第124条の専修学校、第134条の各種学校のチームに関しては高体連主催大会の規程に準じる。

3. 都道府県大会、地域大会を通じて、選手は、他のチームで参加していないこと。所属するチームが複数のチームで参加する場合、またはサッカーチームとフットサルチームの両方に所属し、両方のチームが参加する場合を含む。

4. 選手および役員は、本大会において複数のチームで参加できない。

5. 参加チームは帯同審判員(要フットサル審判資格)を義務づける。(無理な場合は申込み前に相談に応じます。)

6. 参加チーム・選手はスポーツ傷害保険に加入していること。

7. 本大会の運営に協力することができるチーム。(会場設営/撤収・マルチボール係・記録係等)

8. 代表者・引率者は当該チームを指導掌握し、責任を負うことのできる者であること。
(代表者・引率者は必ず20歳以上の者であること)

9. 代表者もしくは引率者は、代表者会議・抽選会に出席すること。

7 競技方法 【←参加チーム数により、変更の可能性あり】

1. 参加チームでリーグ戦を行い、1位を決定する。順位は、勝点合計の多いチームを上位とする。勝点は、勝ち3、引分け1、負け0とする。ただし、勝点合計が同じ場合は、以下の順序により決定する。
 - ① 当該チーム間の対戦成績
 - ② 当該チーム間の得失点差
 - ③ 当該チーム間の総得点数
 - ④ グループ内での総得失点差
 - ⑤ グループ内での総得点数
 - ⑥ 下記に基づく警告、退場のポイント合計がより少ないチーム
 - i) イエローカード1枚 1ポイント
 - ii) イエローカード2枚によるレッドカード1枚 3ポイント
 - iii) レッドカード1枚 3ポイント
 - iv) イエローカード1枚に続くレッドカード1枚 4ポイント
 - ⑦ 抽選
2. 1位のチームは関西大会 【6月18日(土)ウカルちゃんアリーナ(滋賀県立体育館)】 に奈良県代表として、出場する権利と義務を得る。

8 競技会規定

大会実施年度の本協会フットサル競技規則による。ただし、以下の項目については、本大会の規定を定める。

- (1) ピッチは原則として、40m×20mとする **※平群：36m×18m程度**
- (2) ボールはフットサル4号ボールを使用する(大会主催者で用意)。
- (3) 競技者の数 ① 大会当日のエントリーは14名とし、試合当日のエントリーとする。② 交代要員の数は9名以内とする。③ ベンチに入ることができる人数は20名以内(交代要員9名以内、役員6名以内)とする。
- (4) 1チームあたり3名までの外国籍選手の登録を認める。ただし、ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数は2名以内とする。
- (5) 登録選手は監督を除き、役員として兼ねることを認めない。
- (6) 競技者の用具
 - ① ユニフォーム
 - (ア) フィールドプレーヤー、ゴールキーパーともに、色彩が異なり判別しやすい正副のユニフォーム(シャツ、ショーツ、ストッキング)を参加申込書に記載し、各試合には正副ともに必ず携帯すること。
 - (イ) チームのユニフォームのうち、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別しうるものであること。
 - (ウ) フィールドプレーヤーとして試合に登録された選手がゴールキーパーに代わる場合、その試合でゴールキーパーが着用するシャツと同一の色彩および同一のデザインで、かつ当該選手の番号がついたものを着用すること。
 - (エ) シャツの前面、背面に大会登録票に登録した選手番号を付けること。ショーツにも選手番号を付けることが望ましい。選手番号は服地と明確に区別し得る色彩であり、かつ判別が容易なサイズのものでなければならない。
 - (オ) 選手番号については1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番をつけることができない。必ず、本大会の参加申込書に記載された選手固有の番号を付けること。
 - (カ) ユニフォームへの広告表示については、本協会「ユニフォーム規定」に基づき承認された場合のみにこれを認める。ただし、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームにて負担することとする。
 - (キ) ユニフォームの色、選手番号等の大会登録票提出締切日以降の変更は認めない
 - (ク) その他のユニフォームに関する事項については、当該年度本協会「ユニフォーム規程」に則する。
 - ② 靴：靴底は接地面が鉛色、白色もしくは無色透明のフットサル用シューズのみ使用可能とする。(スパイクシューズおよび靴底が着色されたものは使用できない。)
 - ③ ビブス：交代要員は、競技者と異なる色のビブスを用意し、着用しなければならない。

※1人当たり1枚ずつ必要。1色で足りない場合は2色混同を認める

(7) 試合時間 **【←参加チーム数により、変更の可能性あり】**

①予選リーグ20分間(各10分間からなる2つのピリオド)のプレイングタイム、

ハーフタイムのインターバルは5分間(第1ピリオド終了から第2ピリオド開始まで)とする。

②タイムアウト、5ファウルはありとする。

(8) 競技中の飲水(ハーフタイム含む)は定められた場所で水のみとし、容器は個人が特定できるものであること。

9 懲罰

(1) 本大会において退場を命じられた選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できず、それ以降の処分については本大会の規律委員会で決定する。

(2) 本大会期間中に警告の累積が2回に及んだ選手は、自動的に本大会の次の1試合に出場できない。

(3) 前項により出場停止処分を受けたとき、または本大会の終了のときに、警告の累積は消滅する。

(4) その他、懲罰に関する事項については、本協会「懲罰規程」に則り、本大会の規律委員会が決定する。

10 参加申込

(1) 大会参加確認締切日：**2022年3月30日(水)**までに別紙参加確認書を五條高校山岡までFAX or メールで提出すること。【五條高校FAX：0747-22-8086、山岡PCメール：kakipyama@yahoo.co.jp】
大会参加確認書が提出後、後日kickoffから各チームに申し込み申請様式がメールで送られる。

(2) 申込用紙提出日：**2022年3月31日(木)** チーム代表者会議のときに所定の申込用紙を提出すること。
(所属長orチーム代表者の印を忘れないこと)

(3) kickoffからの申込：**2022年4月4日(月) 21:00**までにkickoffから大会参加申込を済ませること。

11 選手証

各チームの登録選手は、選手証(コピー可)を、試合会場に持参すること。登録が確認できない場合は試合に出場できない。また、**選手証は2022年度のものを用意しておくこと。**

12 参加料

1チームにつき¥10,000-を代表者会議にて徴収。

13 表彰

1位から4位までを表彰する。

14 抽選

2022年3月31日(木)のチーム代表者会議後に参加チームによる抽選を行う。

15 代表者会議

2022年3月31日(木) 18:00より奈良県フットボールセンター会議室(磯城郡田原本町法貴寺1371番地)にて実施する。 ※コロナ感染状況によっては、オンライン(Zoom等)で開催することも検討する。

16 その他

本大会の実施要項に記載されていない事項については、奈良県フットサル委員会、2種運営委員会が中心となり、審議を行う。